



周囲の温度を下げてくれるドライフォグは、粒子が細かくぬれないのが特徴。店先に打ち水のような効果をもたらしてくれます。



景観を向上させるだけでなく、ヒートアイランド現象の緩和にもつながる街路樹。日を遮るため、真夏でも涼しい香椎宮参道。



年配の方の買い物や子どもの送迎など、市民に親しまれるペコタクシー。かわいいデザインが、まちの風景に溶け込んでいます。



自転車専用道路が設置され、自転車を利用する人が増えているそうです。ライトが埋め込まれているため、夜も安心して運転することができます。

## エコ都市・福岡をめざして



福岡のまちの中にも、最近、環境の配慮から生まれた、エコな景観が増えてきました。さまざまに取り組みは、私たちの暮らしを少し楽しく便利に、そして快適にしてくれます。「環境対策」というと難しく感じてしまいますが、**「エコな景観」**は実はほんの少しの工夫で誰にでも作り出すことができます。例えば家の軒先に緑や花を飾ってみたり、芝生を植えてみたり…。

あなたもぜひ、できることから始めてみませんか？一人ひとりの小さな取り組みで、福岡のまちを、エコな景観でいっぱいにしましょう。



1 2 太陽光発電が設置された透明の屋根は、景観的にもとてもユニーク。傍らに設置された電光掲示板には発電電力が示されています。  
3 緑であふれる校舎をめざし、ベランダなどは緑化が進んでいます。  
4 5 風力発電のための小さな風車も設置。うまく電力を得ることができれば、プール横の小さな照明に灯りがつく仕組みです。

福岡市立博多小学校  
福岡市博多区奈良屋町1-38

### 事例 博多小学校

福岡市博多区

**教育現場で行われる環境への取り組み**

冷泉、奈良屋、御供所、大浜という4つの小学校が平成10年に統合して開校した博多小学校は、「日本一の学校をつくらう」という地域の願いによって生まれた先進的なデザインと設備に彩られた画期的な校舎が特徴。とても小学校とは思えない空間で、子どもたちがのびのびと毎日の生活を楽しんでいます。

最新式の校舎はおしゃれで機能的なだけでなく、子どもたちが身近な場所で「環境」に触れることができる設備も豊富。屋上のランチルームに向かうアプローチで上を見上げれば、そこには透明の屋根に設置された太陽光発電。プールの横には風力発電も設置されています。地域住民との交流も盛んな上、校内には幼稚園や公民館も併設。あらゆる意味で、開放感ある小学校である博多小学校は、従来の小学校のあり方にとらわれない空間の中、オリジナリティのある教育が行われています。

### eco-column エココラム

#### エコの力で運営するライブハウス Zepp福岡

さまざまなアーティストのライブを臨場感あふれるステージで楽しむことができるZepp福岡は、エコ活動を積極的に行うライブハウスとして知られています。ライブの音や光に使用する電力は大容量になりますが、その全てを風力発電による電力でまかなっているとのこと。まだまだ活用されることが少ないクリーンエネルギーですが、自然が生み出すパワーの可能性を感じる取り組みに期待が高まります。



全国6カ所にあるZeppのひとつ。あらゆるライブが楽しめる人気スポットです。(福岡市中央区)



風力発電による電力は自然エネルギーを提供する企業から購入して使用。